



## 学習の成果を発表しました



2月20日（金）に、1年生、3年生、4年生が学習の成果を発表しました。本番に向けて熱心に練習に取り組み、学んだこと、できるようになったことなどを、工夫しながら一生懸命に伝える姿に感心しました。また、インフルエンザB型が流行したため欠席者もありましたが、クラスみんなで補い合いながら上手に発表しました。ご多用のところ、多くの保護者のみなさま、地域のみなさま方にお越しいただき、ありがとうございました。

### 1年生 成果発表

1年生は、①一人ずつできるようになったことを発表、②国語「音読」、③算数「計算」④体育「なわとび」、⑤音楽 合奏「きらきら星」、⑥音楽 合唱「ふるさと」、⑦アンコールと、盛りだくさんの内容で、今年度1年間の学びを発表しました。緊張しながらも、一人ひとりが体いっぱい表現し、この1年間で大きく成長したことを感じました。



### 3年生 成果発表

3年生は、総合的な学習の時間に「誰もが幸せになれるように」と、福祉について学習してきたことの発表をしました。1学期に「盲導犬」について学習してきたこと、2学期には「パラリンピック」について学習したこと、そして、市木の方との交流会での経験を生かし、誰でもできるスポーツを調べ、自分たちなりのルールを考えた6つのスポーツの紹介をしました。スライドを使いながらわかりやすく伝えることができました。最後に、お越しいただいたみなさんと一緒に「モルック」をして、楽しい時間を過ごしました。

### 4年生 成果発表

4年生は、総合的な学習の時間に「旭の梨」について学習してきました。そこで、これまで学習してきたことをもとにして「旭の梨をもっとひろげよう！」をテーマに発表を行いました。今年度も大変お世話になった田村邦麿さんや木田まちづくりセンターのみなさまにもお越しいただきました。「旭の梨のキャラクター」、「旭の梨のグッズ」、「旭の梨の良さを広める方法」、「旭の梨の料理法・活用法」について、それぞれグループに分かれて発表しました。プレゼンソフトを活用してスライドをつくり、旭の梨への思いをしっかりと伝えました。



## 令和7年度 学校評価の結果について

1月に、教職員、児童、保護者のみなさんを対象に、学校評価アンケートを実施しました。次ページの表のように集計いたしました。また、1月28日には、学校運営協議会を開催し、委員のみなさま方に学校評価について説明させていただきました。学校評価の結果や学校運営協議会委員のみなさま方からのご意見をもとに、今後に向けての改善策を検討し、来年度に生かしていきたいと思っております。

学校教育目標	今年度の各部のめざす取組	課題解決のための具体的方策	教職員評価		児童評価		保護者評価				
			肯定	評価	肯定	評価	肯定	評価			
ふるさとを愛し みらいを拓く 旭の子	【教務部】 学びの土台づくり (自己肯定感UP)	・めあての持たせ方や導入、課題設定の工夫をする。	授業者がめあての持たせ方や導入、課題設定を工夫した。	100%	A	自分には良いところがあると思う。	84%	A	お子さんは、お子さん自身に良いところがあると思っている。	91%	A
		・定期的に漢字会・計算会の取組をして、見直しもすることで学習の定着を図る。	学級担任が計画的に漢字会・計算会を実施し、見直しの時間を確保した。	100%	A	漢字・計算会でたくさん合格したり、見直しをしたりすることができた。	88%	A	学校は、子供たちに基礎学力がつくように、漢字計算会等の取組を進めている。	91%	A
		・児童自身が、ドリルやノート、タブレット等を使って繰り返し学習する。	授業中に児童に適した学習時間を取り入れることができた。	100%	A	ドリルやノート、タブレットでたくさん勉強した。	89%	A	学校は、ドリルやノート、タブレット等で子どもたちにあった学びができるような取組を進めている。	89%	A
	【生徒指導部】 仲間づくり ・体づくり (ほくもわたしも笑顔いっぱい)	・教育相談、アンケートQ、情報共有等により、児童理解を深める。	教育相談を各学期に一回実施し児童理解に努めた。	100%	A	先生は、あなたの良いところをお話してくれましたか。	89%	A	学校は、子どもたちのよい面を認めながら、教育活動を行っている。	94%	A
		・あいさつ運動、業間マラソン等に取り組み、元気に過ごす、心と体を築く。				元気よくあいさつをした。	80%	A	お子さんは、元気よくあいさつすることができた。	70%	B
		・縦割り班遊び、なかよし集会等に取り組む中で、子どもの思いを形にする。	各学級、各委員会でお互いに仲良くできるような取組を行った。	100%	A	友だちと仲良くすることができた。	96%	A	お子さんは、友達となかよく生活している。	94%	A
		・自分の生活を振り返り、規則正しい生活を送ろうとする。				広島大学の田村先生のお話や身体測定の話の思い出、頑張ってみようと思えましたか。	91%	A	家族で話し合い、生活リズムの改善に取り組んだ。	88%	A
	【研究部】 授業づくり (学びをつなぐ・深める)	・学びの意欲を継続させるために、カリキュラム・マネジメントを進める。				授業で学んだことを他の授業で生かしていますか。	79%	B			
		・児童の深い学びにつなげるために、協働的な学びの場を工夫した授業づくりに取り組む。				友達との話し合いを通じ、考えを深めたり広げたりできていますか。	81%	A			
		・1人1公開授業、中間・成果発表会により、教員の指導力向上に努める。	1人1公開授業、中間・成果発表会、児童アンケートを実施し教員の指導力向上に努めた。	100%	A						
	【総務・事務部】 環境づくり (サポートし合える職場・信頼される学校)	・職員の業務が充実するために、環境整備、財源、人、もの、ことなどの教育環境を整える。(総・事)	職員から出たアイデアが生かされ教育活動の充実につながった。 新しいことに挑戦したり、困ったときに相談したりしながら、職員と協力して仕事ができた。	100%	A						
		・学校運営協議会を立ち上げ定期的に開催する。	学校運営協議会を年3回以上開催した。	100%	A						

☆評価…肯定群80%以上→A(目標値クリア) ・60%以上~80%未満→B ・60%未満→C

## 学校の様子

### 新規採用教員採用前研修「現場実習」

1月26日(月)~28日(水)の3日間、昨年度本校で約1ヶ月間教育実習をされた大学4年生の山根佳奈さんが、採用前実習ということで旭小に来られました。久しぶりの出会いに、子どもたちも大喜びでした。授業の様子を観察したり、指導したり、支援をしたりして過ごされました。笑顔がとても印象的でした。4月からは、島根県内の小学校で教員として勤務されます。ご活躍を応援したいと思います。



### 薬物乱用防止教室(6年生)

1月29日(木)、島根あさひ社会復帰促進センター統括矯正処遇官 法務事務官看守長の石原亨様を講師にお迎えし、6年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。薬物の種類や薬物乱用は犯罪であること、1度でも使用してしまうと脳が忘れられなくなり再犯率が高いこと、全国や島根県の実態について、また、声をかけられた際にどのように対応したら良いかなど、わかりやすく、詳しく教えていただきました。



### 彼岸花植樹感謝状贈呈式

今年度も、島根あさひ社会復帰促進センターより、5、6年生へ感謝状と記念品をいただきました。地域のみなさま方と一緒にセンターとの交流を深める活動ができていることに、私たちも感謝しているところです。6年生は、来月、センターへ見学に出かける予定です。

